



※サイエンス & カルチャーカフェとは… 科学技術やアーティストなど、いろいろな領域の専門家と一般参加者がともに集い、簡単な飲み物と軽食を取りながらカジュアルに意見交換する場です。

サステナブルな 未来を思考する

科学とアートから見る環境と社会：ヨーロッパからの報告

Through the Lenses of Science and Art

New Thinking on Environmental Issues and a Sustainable Future

Guest

Frank Schwalba-Hoth

フランク・シュバルバ・ホッツ ドイツ緑の党 前欧州議員、現コンサルタント、環境／人権問題スペシャリスト

Facilitator

Tom Hope

トム・ホープ

ゲストは前欧州議会議員であり、環境・人権問題を専門とするフランク・シュバルバ・ホッツ氏です。環境・社会のひずみについて考え、創造的な工夫や新しいメディアによる表現方法、共有方法、欧州と日本のアプローチの違いなど見ていきます。

津田広志

つだひろし

12月18日(金)

2009年

18:00~20:00

TTF：東急目黒線・大井町線 大岡山駅前
東工大蔵前会館 1F ロイヤルブルーホール

Creative Flow 東工大サイエンス&アートLAB

環境問題に関わる科学やテクノロジーを、学術論文や書籍、科学記事、展示といった従来の方法ではなく、映像、絵画、建築、WEBサイト、アニメーションといった創造的メディアを通じて考え、専門家と一般市民が共有／議論につなげる新しい形のサイエンスコミュニケーションの可能性について調査します。さらに創造的メディアを介在させたサイエンスコミュニケーションを試行することで、効果的で新しい多様なプログラムを開発します。

東工大の大学生・大学院生、研究者、アーティストやデザイナー、一般市民がともにサイエンスカフェやアトリテラシーワークショップ、テクノロジー&デザインコンペ、ブログを通じたコミュニケーションにより、科学とアートの相互創発性を考えていきたいと思ひます。

参加費無料

軽食・飲み物を
用意しています、
どなたでも
ご自由に
ご参加ください

使用言語：日本語／英語（同時通訳つき）

申込：creative-flow@ryu.titech.ac.jp

